

令和3年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究
研究実績報告書

1. 研究課題名

「佐原三菱館の歴史に関する調査（川崎財閥の歴史に関する調査） Phase3

2. 研究組織

| 区分 | 氏名 | 所属・職名 |
|-------|-------|----------------------|
| 研究代表者 | 堂下 浩 | 総合情報学部 総合情報学科・教授 |
| 研究分担者 | 井関 文一 | 総合情報学部 総合情報学科・教授 |
| | 伊藤 幸郎 | 総合情報学部 総合情報学科・非常勤講師 |
| | 酒井 航 | 大学院総合情報学研究科・博士前期課程2年 |

3. 連携先団体等

| 団体名 | 担当部署 |
|-------|------------|
| 香取市役所 | 生活経済部市民協働課 |
| | 総務企画部企画政策課 |
| | 教育部生涯学習課 |

4. 研究期間

2021年4月1日～2022年3月31日(7年計画の4年目)

5. 研究の目的

保存修理が進められてきた佐原三菱館は令和4年4月に竣工された。そこで本調査では、同館に関わる資料を収集するとともに、修復調査で新たに発見された知見も加えながら、展示用のコンテンツを作成する。そして、市民向けパネル展として公開するとともに、また過去に行われた調査結果を論文として整理し、その学術的成果として発表することを目的とする。

6. 研究報告

佐原三菱館が修復するにあたり、大正期に川崎銀行が佐原に荘厳な支店を建設した理由を解明するとともに、今回の修復工事を通して新たに発見された資料も盛り込みながら、市民向けの展示コンテンツを作成した。市民向けの展示内容を作成するにあたり、金融の専門知識がなくとも、川崎銀行と三菱銀行の関係性の歴史を紐解きながら、川崎銀行佐原支店が三菱銀行佐原支店となった経緯を理解できるようにコンテンツの作成に腐心した。同時に、市民向けパネル展示の内容を補足解説するための小論を、香取市民向け広報誌である「広報 香取」に寄稿した。

また今年度も、佐原三菱館を建設した川崎銀行と川崎財閥に関して研究を進めた。今年度の調

査では川崎財閥の総帥であった 2 代目川崎八右衛門の銀行経営に対する思想を明かす資料を収集することができた。特に 2 代目は銀行の建物に銀行経営の哲学を具象化することに専念していたことから、2 代目が建設に関わった川崎銀行の支店に関する資料を通して、川崎銀行や金融財閥である川崎財閥が目指した経営方針の一片を知ることができた。こうした分析内容を整理した論文を早稲田大学クレジットビジネス研究所に寄稿した。

7. 成果の公表

(1) 市民向けパネル展示

令和 3 年 12 月 10 日(金)～22 日(水)において香取市役所の 1 階・情報コーナーを会場として、パネル展「話譚(わたん)佐原三菱館を知る」を実施した。その内容は本学のホームページでも案内された。

- ・公表媒体:東京情報大学 What's New 「佐原三菱館についてのパネル展『話譚(わたん) 佐原三菱館を知る』を開催」

- ・掲載 URL: http://www.tuis.ac.jp/topics/sawara_exhibition/

(2) 香取市広報誌への寄稿

令和 3 年 12 月に実施されたパネル展「話譚(わたん)佐原三菱館を知る」を解説する、「川崎と三菱」というタイトルの小論を香取市民向け広報誌である「広報 香取」(令和 4 年 1 月号)に寄稿した。

- ・公表媒体:香取市 広報かとり Web 版(No.322 令和 4 年 1 月)

- ・掲載 URL:

- https://www.city.katori.lg.jp/government/koho/koho_web/koho_back03/koho_2201.html

(3) 早稲田大学クレジットビジネス研究所への寄稿

令和 2 年度及び令和 3 年度の調査にて発見された新資料を盛り込みながら、川崎財閥及び川崎銀行の歴史を解明するとともに、佐原三菱館が修復・復元される意義を議論した学術論文を、早稲田大学クレジットビジネス研究所のサイト上にワーキングペーパーとして発表した。

- ・公表媒体:早稲田大学クレジットビジネス研究所

- ・論文タイトル:川崎銀行(第百銀行)の遺構が示唆する銀行建築のあり方

- 佐原三菱館を修復・保存する意義を考える —

- ・論文ナンバー:IRCB21-001

- ・掲載 URL: <https://www.ibi-japan.co.jp/prj-ircfs/pdf/ircb21-001.pdf>

8. 総評

香取市・市民協働課

東京情報大学と香取市は、平成 24 年に地域連携協定を締結し、大学には香取市を教育・研究活動のフィールドとして活用いただいております。市では市民協働のまちづくりを推進するため、お互いが協力・連携してさまざまな活動に取り組んできました。

香取市では歴史的な建造物であり、千葉県有形文化財に指定される「佐原三菱館」の保存修理を進めておりましたが、本年3月をもって完了し、4月9日に竣工式が開催されました。昨年度はパネル展「話譚(わたん)佐原三菱館を知る」が、香取市役所内にて令和3年12月10日～22日にかけて開催されました。本パネル展は、御学の堂下教授(総合情報学部・総合情報学科)のグループにより実施されてきた研究プロジェクト「佐原三菱館の歴史に関する調査(川崎財閥の歴史に関する調査)」における研究成果をまとめた内容でした。

本パネル展を通して、「佐原三菱館」が地域のシンボルとして、香取市民にいつそう

愛着を深めていただくための機会となったものと察します。引き続き、御学からのご支援を宜しくお願い致します。